

学域名	医療保健学域
学類名	医学類

学籍のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		学籍の学習成果(○=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)																				
学籍のカリキュラム(履修方針)		学籍の学習成果(○=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)																				
学籍のカリキュラム		学籍の学習成果(○=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)																				
科目名	授業名	学生 選択生 目の	学年	前期	後期	使用	A 基础知識及び技能	B 研究心	C 倫理観	D 地域医療	E コミュニケーション	F 危険・事故の予防										
							基礎医学・社会医学領域について専門的な知識と技能を身につける。	科学的根拠に基づく医療の評価と検証の必要性を理解する。	医師としての社会的責任を負担し、患者の自己決定権を尊重する。	地域における医療・保健・福祉の重要性を理解する。	医療従事者の個々の責任感と医療行為の重要性を理解する。	医療従事者との連携を重視する。	医療従事者の個々の責任感と医療行為の重要性を理解する。									
	医療保健基礎	・毎回課題を見出し、調べ、まとめてることで、学習デザイン能力と論理的思考力を向上させる。 ・ディスカッションやプレゼンテーション、レポート作成を経験し、自己表現能力向上させる。	1	*	*	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	
	生体の構造	光学顕微鏡および電子顕微鏡レベルの形態から生命のしくみを理解する。	2	*		○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	
	人体の正常構造	1.ヒトの生物学的な組織や、疾病の発病における病理生理を、それに関わる生物の構造に基づいて説明できるようにする。 2.ヒトのかながわらせる過程(「生発生」)や、他の生物との違い比較解剖	2	*		○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	細胞分子化学	将来の講義に指定された教科書をもじり説いており、不足部分は各自教科書で学習することとする。講義、実習も各自の参考書や機種的な学習を促すために、ホームページ、レポートや学生による発表会の時間を作っている。	2	*		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△
	生体の機能	生体機能の基本を、各器官・系統を構成する細胞、分子のレベルに立にして理解する。	2	*		○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	ヒトの遺伝子解析と動物実験	動物実験の基礎知識を理解する。また、近年改訂版医学についての最新の知識を基に説明できるようにする。	2	*		○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	細胞・組織の構造	地球規模で医療問題を理解し、我が国が、また自分自身ができることを考える機会を持つ。	2	*		○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	細胞・組織の構造	光学顕微鏡および電子顕微鏡レベルの形態を自分の目で観察する。	2	*		○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	細胞・組織の構造	胚及び発育の原理及び細胞を観察する。また、各神経路の役割、起點および終点を述べ、さらにその要因についての説明ができるようになる。	2	*		○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	人体の発生	人体を構成する主要器官について、その起源・発生の過程・および主立った発生異常を述べることができるようになる。	2	*		○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	基礎免疫	1)免疫システムの基礎的構成特徴を理解する。 2)抗体の構造・機能、さらに多型性抗体のメカニズムを理解する。 3)主要な適合抗原の構造と抗原提示における役割を理解する。 4)T細胞の活性化と増殖を理解する。 5)サイトカインの構造と機能を理解する。 6)補体系・接着分子・ケモカインの機能を理解する。 7)感染免疫・自然免疫機構を理解する。 8)アレルギー・自己免疫疾患・移植免疫・腫瘍免疫の基礎的概念を理解する。	2	*	**	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	生体の機能	各器官構造に関する細胞、分子のレベルで立証して理解する。疾患の病理生理を理解していくうえで、実習を通じて各器官の各機能について理解する。	2,3	*	**	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	生体の構造と試験	神経系の正常機能について、医学として当然修得すべき基礎知識を理解する。	2,3	*	**	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	生体分子と細胞の機能	生来の形の遺産文書にもじり説いており、不足部分は各自教科書で学習する。また、ホームページ、レポートや学生による発表会を通じて自主的な考察と積極的な学習を行なう。	2,3	*	**	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	ウイルス感染	ウイルスの基本的な性質と病原性、ワイルス感染に対する生体反応・予防、各種ウイルスの特徴と病原性について正確な知識を身につける。	2,3	*	**	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	細菌感染	個々の病気の病原体は何であり、どのようにしてその病原が生じているかを分子生物学的に理解する。	2,3	*	**																	
	寄生虫生物学	1)寄生虫・寄生動物の基本的なライフサイクル、病態、病理、診断、予防について理解する。 2)世界中における寄生虫病の発生状況と予防対策について理解する。	2,3	*	**																	
	法医学	1)人の生死と死因、特に死体観察、其の死体、並びに代償的な死因・外因死について説明できる。 2)検死・検死に関する基本的知識と手順を理解する。 3)死亡診断書と死体検査書の書き方を説明し、適切な文書を作成する基礎を身につける。 4)個人識別に関する基本事項や応用事項について学び、特に、広義血清型(DNA多型)を中心として説明できる。 5)死体検査と医療紛争についてその現状を知り、その予防策や解決について学習する。	2,3	*	**	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	医療保健	姿勢保持・歩行運動、および各高次機能が関与する運動についてバイオメカニクスピ神経科学の面から機理を深め、それらの運動機能障害に対する運動療法について学習する。生活習慣病への運動療法について理解する。運動知能の方の仕事と学習する。	2,3	*	**	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病棟生活	特定の問題について文献を読んで主導的に調べて解決することが出来る。	3	*		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	一般内科	内科における症状学、診断学、治療などの学習をする。内科診断の実例をいくつか見るので、各疾患の診断知識を身につける。	3	*		○	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般外科	手術を中心とした外因性疾患に対する手術の病態・生理、診断および治療法を包括的に学び、外科的概要を理解する。	3	*		○	○	△	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	△	△	△
	臨床遺伝学	1.将来の遺伝子検査と遺伝性疾患の症例を受けたことになった際、診断のための正しい遺伝学的検査などを出来る。 2.また、患者及び家族の同意を尊重し、軽はずみな言動は避け、必要に応じ適切な遺伝カウンセリングを推介出来る。	3	*		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	臨床放射線・核医学	臨床医学の勉強における放射線医学が理解できるようにする。	3	*		△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△
	免疫アレルギー	各疾患の免疫学的病態を理解する。免疫学的検査の原理や効果および副作用について理解する。	3	*		○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	医療倫理と医療法規	医療に対する問題を複数に複数の価値観が立場によって、適切な判断を導くための考え方を理解する。	3	*																		
	EBM	医療のプロとしての立場を持って社会へ貢献することの重要性を認識し、自ら患者さんの健康上の問題を発見し、解決する基盤となるEBMとNBMO考え方を修得する。	3	*		△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△

学域名	医療保健学域
学類名	医学類

学種のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)											
医師として必要な専門的知識及び基本的技能の他、幅広い教養、高い倫理観を身につけ、患者中心の全人的医療を推進できる。探求心・研究心をもって総合的学習を行い、最新の科学研究を理解する事が出来る。											
学種のOER(カリキュラム構成方針)											
初年度に行う早朝臨床体験」により、医学類に入学した学生に対して、6年間の学年の目標を見極めさせる。その上で2年次以降、「基礎医学と臨床医学を指導する」について学べるような統合型カリキュラムを編成する。少人数で行う実習やチュートリアル教育をとりいれ、課題探求型の自己学習を指導する。	A. 理論及び技術	B. 研究心	C. 倫理観	D. 地域医療	E. コミュニケーション	F. 危険・事故の予防					
学種のカリキュラム											
科 目	授 楽 葉	学 生 受 講 生 目 の	学 年	授 楽 葉	使 用						
	医療情報	(1)診療報酬より医療上の課題記述の、定義と法的効果、標準的記載作成の方法、記載方法を説明する。 (2)医学的・法的に適切な診断記載し、適時に診療情報を取り扱うことができる。 (3)電子化された診療情報を取り扱う病院情報システムについて、構成する要素および技術を説明できる。 (4)電子化された診療情報を適切に取り扱うことができる	3	*							
	医師として救急災害医療を実践できるようになるため、救急災害医学・医療に関する基本的知識・知識・技術等身につける。	3	*	◎					○	○	
	薬物治療の基礎	薬物の本体への作用について、個体・細胞・分子レベルにおける作用機序を理解する。また、薬物の本体による活性化との連絡について学ぶ。	3	*	○	○	○	○	○	△	△
	病歴の分子機構	病理学的専門用語を正確に説明できる。代表的な疾患の病因・病理形態を説明でき、かつ、肉眼形態および組織像から病理診断ができる。	3	*	◎	○	○	○	○	○	○
	病歴の形態と臨床循環	病歴中流ソリューションを理解して、問題解決に役立つことをキリスト参考書により調べ復習とする。	3	*	○	○	○	○	○	○	○
	衛生学	社会的・経済的・文化的環境に対する影響を理解する。社会的・経済的・文化的環境に対する影響を理解する。また、EIMO重要なが広く認識され、臨床検査や疫学調査データを正確に理解することができる。これからの要求に対応する知識を身に付ける。社会保険制度の変遷、医療行政における政策の重要性を理解することを目指す。	3	*	◎	○	○	○	○	○	○
	公衆衛生学	研究の基本的な流れ、目的及び背景、実験計画、実験手技、結果及びその解釈、考察を理解する。文献収集などを通じて基礎的な知識を広げ、周囲の人と積極的にディスカッションを行う。	3	*	◎	×	×	○	○	○	○
	小児科診断学実習	小児、特に診察が難しい幼児の、視認、触診、打診、聴診法を学び、理学的所見の成人との相違を理解する。	4	*	◎	○	○	○	○	○	○
	臨床検査学実習	医療面接や現症などから得た医療情報をもとに作成仮説をたて、臨床検査項目を通じて行い、その結果を解釈することとする。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	臨床検査学実習 超音波診断法	超音波診断法、CT診断法、磁気共鳴診断法、血管造影法、核医学診断などの、機器の原理、構造、機能、適応について学ぶ。	4	*	△	○	○	○	○	○	○
	免疫・アレルギー(臨床検査学)	臨床検査等を用いたアレルギーフラグ、卵巣、アレルギー疾患の病態とアレルギーのカクテルと比較する。免疫・アレルギーについて全般性(エピゲノン)、個別性(アレルギー)、免疫・アレルギーの基礎と応用、アレルギーの発症機序、血清型症候群、シーケンス型症候群が詳しく診断でき、アレルゴトライミングやアレルギー治療法による治療法を習得する。治療中に発現した感染症をはじまとした合併症に対する適切な評価と対応法を習得する。	4	*	△	○	○	○	○	○	
	血液(臨床検査学)	血液や凝固、凝溶のしくみを理解する。末梢血・骨髄・細胞細胞の鑑別ができるようになる。各疾患における症候、検査成績、診断方法および治療法を理解する。造血幹細胞の原理や併存、移植片対宿主細胞反応について理解できるようになる。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	神経精神(臨床医学各論)	神経精神疾患の代表的な状態を理解する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	先天性骨髄(臨床医学各論)	染色体異常・胎児感染症による先天奇形症候群、小兒神経・筋疾患、小兒心身症、さらに骨髄疾患、小兒整形疾患を理解する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	眼科(臨床医学各論)	検査等を用いて、病状、リスクストライドと回線返すことでポイントの把握が可能	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	耳鼻咽喉科(臨床医学各論)	耳鼻咽喉科としての機能を身につける。耳鼻咽喉科の基礎知識を身につける。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	感染症(臨床検査)	感染症の基礎知識の習得及び治療法の必要性を理解する。微生物学および分子生物学の知識を取得する。宿主の状況と経路などによる感染症の差別化を理解する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	腫瘍(臨床検査)	腫瘍学の基礎講義として、各臓器の代表的な腫瘍の病態の特徴、診断および治療について理解して、実際の臨床症例を通して理解を深める。	4	*	△	○	○	○	○	○	○
	免疫・アレルギー(臨床検査)	リウマチ、膠原病、アレルギー疾患の系統的に診断することができる。疾患の問題点を把握して治療計画立てができるようになる。	4	*	△	○	○	○	○	○	○
	血液(臨床検査)	代表的な血液疾患の症状、検査成績、検査方法および治療法を理解する。多因子などにより治療法が選択できる、代表的な疾患の血液・骨髄像がわかる。代表的な疾患の分子生物学的病因論を理解する。分子標的の治療法などの最新の治療法を知る。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	神經精神(臨床検査)	代表的な精神疾患を理解する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	神経内・外(臨床検査)	症例の現歴歴から病気のカテーテル診断を行う。神経学的検査から神経疾患を診断を行う。アーチファクトの現象とその原因、各疾患の病態、診断を理解する。各疾患の病態、診断をわけたため検査について理解し、解釈する。個別診断と差別化について理解する。治療法について理解し、実習する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	健診科(臨床検査)	診断学習、系統講義に引き続き、症例から疾患について学習する。呈示された各疾患について学ぶが、関連領域についても自己学習し、知識の幅を広げたい。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	呼吸器(臨床検査)	提示された呼吸器疾患の症候、病歴・診断・治療について分子・細胞・グループ討論してまとめられて発表し、質問に答えるなどが不足感を持つ理解を深める。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	栄養・消化器(臨床検査)	栄養・消化器臨床医学を効率的に受講し、かつ将来の臨床医療を円滑にかつ効率的に進行するための基礎的知識を獲得。さらに最新のトピックスは何かを自ら探索する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	生活・出生・産褥期(臨床検査)	一般系統講義で学んだ知識をもとに、実践的な医療現場の現況を理解する。It learns the present condition of the practical medical field on the basis of a knowledge studied in the general systematic lecture.	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	骨・筋肉・軟骨系(臨床検査)	疾患の診療を学び、その実際を知る。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	皮膚・結合組織(臨床検査)	病気に関する知識のみならず、患者さんの身体的・精神的問題を全人に把握する能力をもつ。	4	*	○	○	○	○	○	○	○
	運動器(臨床検査)	整形外科の知識と各疾患についての知識を学ぶこと。	4	*	○	○	○	○	○	○	○

学域名	医療保健学域
学類名	医学類

学園のディプロマ・ポリシー(卒業認定方針)														
学園の学習成果(○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)														
学園のカリキュラム(履修方針)														
科目名	授業科目名	学年	前期	後期	使用	A.知識及び技能	B.研究心	C.倫理観	D.地元医療	E.コミュニケーション	F.危険・事故の予防	医療従事者の健	医療事故に遭った際の責任と罰則規定を理解している。	
学年	学年	学年	学年	学年	使用	基礎医学・社会医学領域について専門的な知識を身につける。	科学的根拠に基づく医療の評価と検討のための自己学習。自己学習で得た情報を教員が身につける。	患者の自己決定権の尊重。医師としての社会的責任を理解する。	地域における医療・保健・福祉の重要性を理解する。	患者・家族等との良好な関係を築く。	強い責任感、指導力、意思疎通能力をもって、効率よく問題解決ができる事が出来る。	医療従事者の健康と医療事故に遭った際の責任と罰則規定を理解している。	医療過誤に関する知識と対応法について理解している。	
内分器・代謝(臨床講義)	生物を主な対象にし診察、診断、治療を理解して徴候の問題点を把握し、問題解決力を養う。診療ガイドラインに基づいた臨床を行なうことができる能力を身につける。	4	*	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
先天骨髄(臨床講義)	正常发育・成長と一般的な[America Growth & Development/Pediatrics]に同じ。小児期の基本的な疾患を理解し、説明できる。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事故・中毒(臨床講義)	病理および呼吸生理学、代謝・液体生化学、麻酔等に使用する薬剤を理解する。特徴的な病態の病態を理解する。ペインクリニックについて理解を深める。	4	*	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
胃腸・口腔(臨床講義)	胃腸の組合せや咽蓋管を通じて、重宝あることと治宜にそれを考慮していることを理解する。授業では教科書、プリント、スライドと回数選択することでイントロダクションが可能。	4	*	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
急救・災害医学(臨床講義)	医師として急救災害医療を実践できるようになるため、急救災害医学・医療に関する基本知識と態度・知識・技術を身につける。	4	*			○	○	○	○	○	○	○	○	
救命・蘇生講座(臨床講義)	患者・地域に密接に関わる患者を中心とした医療を実践できる医師となるために、しっかりとし小児期の具体的・運動機能の発育・成長の正常範囲を理解し、説明できる。小児期の基本知識と操作技術を身につける。	4	*	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
感染症(臨床医学各論)	病理および微生物学および分子生物学の知識を取得する。宿主の免疫能と治療法による感染症の鑑別診断を理解する。宿主の状態、感染経路などによる感染症の鑑別診断を理解する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
腫瘍(臨床医学各論)	ヒトの各臓器に発生する腫瘍の発生・診断および治療について、広く総合的に理解を深めめる。	4	*	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
脳神経(臨床医学各論)	脳神経の疾患に対する治療の選択と病態を説明できる。	4	*	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
本講義で知識を習得し、臨床実習において実際の患者を診ることで知識を深め、さらに疑問を発見し解決するというすべての臨床医・基礎医学者に必要な能力を身につける。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
臨床実習(臨床医学各論)	臨床実習で実際の症例を眼にし実際に、病歴、病態から診断法、治療法が想起できるようにする。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神経内科(臨床医学各論)	神経系の疾患についての基本的な知識を修得する。神経系を主とする疾患についてのワクチンを理解し、代表的神経疾患についての概要を説明する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
循環器(臨床医学各論)	各種循環器の診断・治療などを身につけ、臨床実習に携わる前に必要な循環器知識を習得する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
呼吸器(臨床医学各論)	呼吸器系疾患の診断の上手となる基本的知識を身につける。	4	*	△	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○
発育・成長(臨床医学各論)	発育・成長の基礎知識を理解し、かく将来的な臨床実習を円滑にかつ効果的に実行するための基礎的知識を獲得し、さらに最新的ヒッポーは何かを自らも探索する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
妊娠・出生(臨床医学各論)	妊娠・出生の基礎知識を理解し、妊娠・分娩、産褥などに伴う産褥期において母児の管理が切迫に求められるための知識を身につける。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
育・泌尿器・男性生殖器	育・泌尿器・男性生殖器の検査、診断法および治療法を学ぶ。	4	*	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○
育・泌尿器・男性生殖器	育・高血圧・糖尿病・酸塩基平衡異常の疾患に罹患した際に病歴を把握し、診断・治療の方法を理解する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
皮膚疾患(臨床医学各論)	主な皮膚疾患について理解する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
運動器(臨床医学各論)	運動器疾患について身体所見より病歴の予測が出来るようになり、画像診断で診断を絞りながら治療法を決めるようになる。待られた病歴についていくつもの治療方法を理解する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内分器・代謝(臨床医学各論)	内分器の分泌、機能、作用を理解し、産生異常や受容体異常による疾患を理解する。生活習慣病の発症・治療で個々の診療ガイドラインを理解する。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事故・中毒(臨床医学各論)	病理および呼吸生理学、代謝・液体生化学、麻酔等に使用する薬剤を理解する。特徴的な病態を理解する。ペインクリニックについて理解を深める。	4	*	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
基本的臨床手技演習	毎回症候を示すからその疾患の主な症状、病歴を理解し、鑑別診断を理解すると同時に科学的根拠に基づいて基礎知識を身につける。	4	*	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
診断(臨床医学各論)	患者との良好な關係の中で、患者の抱える健康上の問題點を的確かつ全人的に把握して、内視鏡検査(Endoscopy)を行なうために、患者と接する医療者接、身体診察の重要性を理解し、基本的な技術・態度を身につける。	4	*	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
問診(臨床医学各論)	毎回症候を示すからその疾患の主な症状、病歴を理解し、鑑別診断を理解すると同時に科学的根拠に基づいて基礎知識を身につける。	4	*	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
講習での知識の獲得、臨床実習での知識の発展、実際の患者を診ることでの疑問の発見、解決というすべての臨床医、基礎医学者に必要な能力を身につける。	4	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
臨床実習、Sited-based learning	各種疾患や外因で実際の患者について学ぶことにより、必要な診察(検査)・診断・治療計画等が出来るようになる。また、患者や医療チームとのコミュニケーションを保ち、医療現場にどう絡めるようになる。	5	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医療実習、リニカルクラーク	医療行為を立てて実験を行い、周囲の人とのデスクチェックを通じて、結果の解釈・考察を行う事が出来る。	6	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
応用基礎記録	自らが計画立てて実験を行い、周囲の人とのデスクチェックを通じて、結果の解釈・考察を行う事が出来る。	6	*	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○